

# ライフサポートひなた

症 例 概 要 利用者：90歳代 女性 介護度 5

利用期間：R4年8月末～

既往歴：腰椎骨折、認知症、椎間板炎、関節リウマチ、両人工膝関節置換術後

経過：2022年6月下旬に自宅ポータブルトイレ使用時に転倒され、体動困難な状態となり救急搬送にて、腰椎骨折と診断。リハビリ進み、腰痛は継続してあり。動けないことでの意欲低下が著明にあり。在宅復帰に向けて当施設利用となる。

## 内 容

---

入所当初より物静かな様子で、職員にも遠慮しがちで意欲なく、不安な日々を過ごされていた。

移動は車椅子全介助であった。移乗が見守りだが自己移乗時の転倒リスクや、独歩でのヒヤリが出ており、転倒の危険性が高い状態であった。

短期記憶低下も見られ、職員からブレーキ操作等の説明を受けても忘れてしまう事が続いていた。

ひなたでの生活に慣れて、安全に穏やかに過ごせるようにご本人に寄り添い援助し、次第にリハビリにも意欲的となり、施設の環境にも慣れてきたところでシルバーカー歩行に変更。

リハビリにも前向きに取り組まれるようになり、在宅復帰への意欲も出てきたと同時に、「また家で家族とご飯が食べたい!」と話されるようになった。

入所当初より環境にも慣れ、目標ができたことで笑顔や会話も多くみられ、リハビリや体操やレクリエーションにも積極的に参加する姿が見られている。

在宅復帰に向けての課題は自宅での昼夜トイレの自立である。現在、自身で日中のトイレ時のズボンの上げ下げなどは出来ている。自宅に戻られてからもトイレの自立を家族は希望しており、ご本人も「必ず、歩いて家に帰りたい」「家で家族と一緒にご飯が食べたい」を目標に日々のリハビリに取り組んでいる。

歩行を安定させ、夜間のポータブルトイレ自立を目指し、ご本人の希望通り一日でも早く、ご家族の待つ自宅に帰れるように向けて取り組んでいる事例である。